

古賀市長寿命化修繕計画 (橋梁・道路附属物等)



久保跨道橋

令和5年1月



古賀市

1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

管理橋梁の現状と課題を踏まえ、老朽化する道路橋が増大していくなか、従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び計画的な架替えへと移行することにより、橋梁の長寿命化、維持更新費の縮減、予算の平準化を図りつつ、道路利用者や第三者に対する安全性・信頼性を確保することを目的とします。

1.1 計画策定の背景と経緯

古賀市では、平成23年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、管理橋梁に対し計画的な維持管理に取り組んできました。

一方、平成26年7月に道路法施行規則の一部を改正する省令が施行され、5年に1回の近接目視による定期点検が義務付けられました。これにより、道路法の改正を踏まえ、近接目視による点検や診断を実施した結果、早期補修が必要となる橋梁が顕在化したこともあり、今後10年間の計画的な維持管理方針を定める橋梁長寿命化修繕計画を策定するものです。



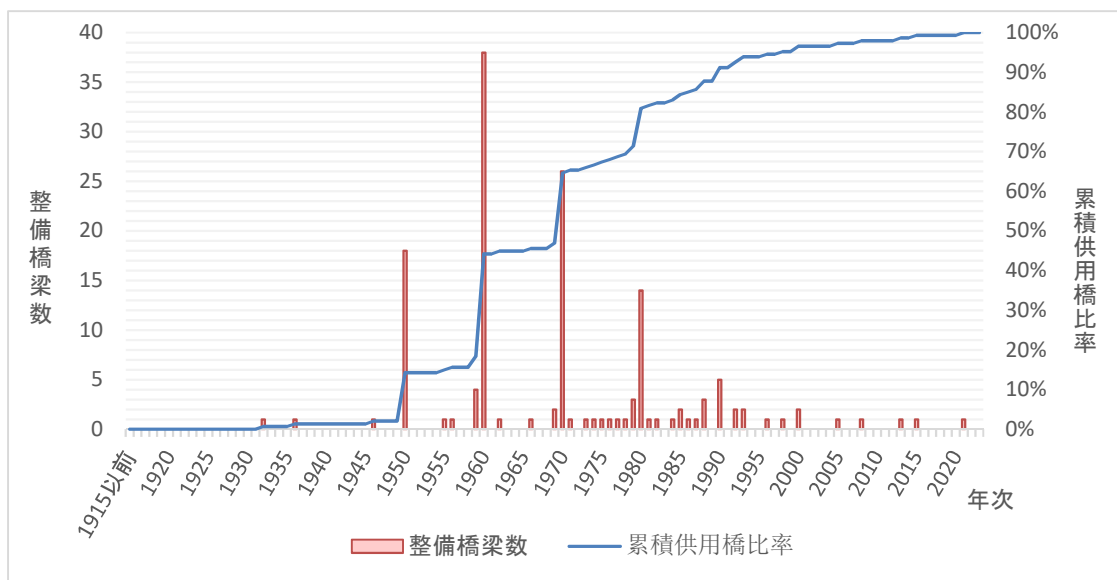
〔 早期補修が必要となる橋梁 〕

1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

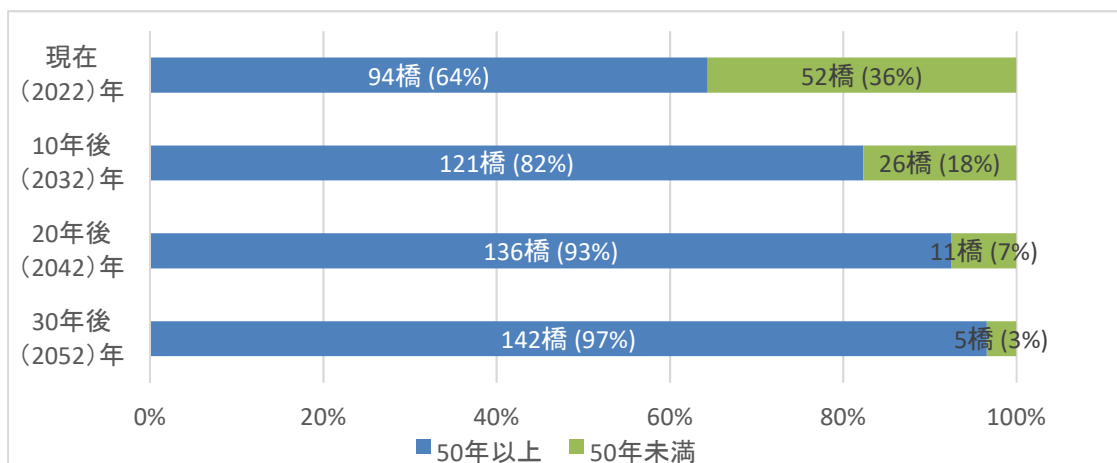
1.2 現状と課題

古賀市が管理する道路橋（道路附属物等を含む）は147橋あります。その内、建設後50年を越える橋梁数の割合は、現在の約64%(94橋)が、10年後には約82%(121橋)、20年後には約93%(136橋)となり、老朽化が急速に進み維持管理費の増加が予測されます。

管理橋梁には、早期補修が必要となる橋梁や鉄道を跨ぐ重要度が高い橋梁もあることから、定期点検により状態を把握するとともに確実な対策を実施していく必要があります。



[建設年の分布]



[建設後50年以上経過する橋梁の推移]

2

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

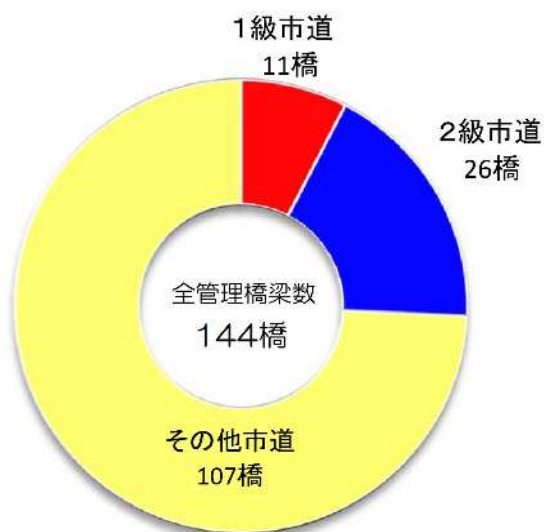
2.1 対象橋梁

2.1.1 対象橋梁（道路附属物等を除く）

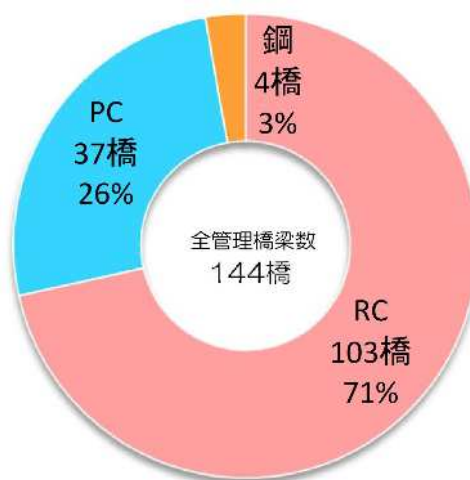
古賀市が管理する全道路橋数（橋長2m以上）の144橋を対象とします。

○ 対象橋梁の割合

対象橋梁の路線種別の割合は、1級市道が11橋、2級市道が26橋、その他の市道が107橋となっています。また、材料種別の割合は、RC橋が最も多く103橋、PC橋が37橋、鋼橋が4橋となっています。



[路線種別の割合]



[材料種別の割合]

※1：RCとは、鉄筋コンクリートのことで、鉄筋とコンクリートが一体となったものです。

※2：PCとは、プレストレストコンクリートのことで、鉄筋がコンクリートと一体となっただけではなくあらかじめ鉄筋に圧縮応力を加えたものです。

2

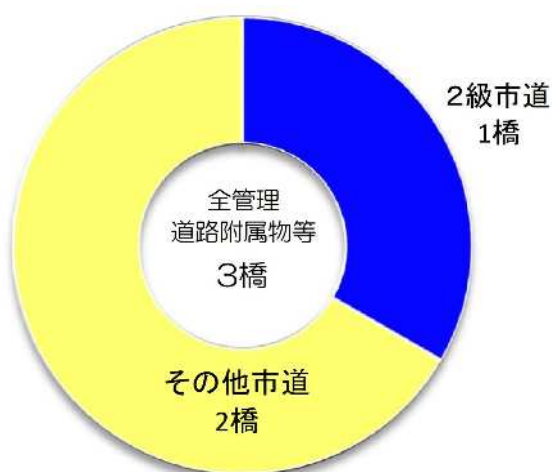
橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

2.1.2 対象橋梁（道路附属物等）

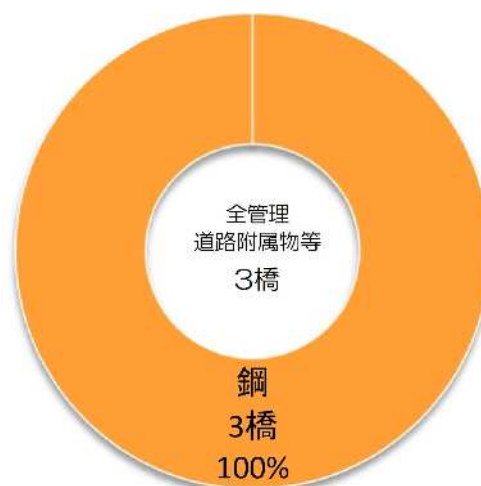
古賀市が管理する全道路附属物等数の3橋を対象とします。

○対象道路附属物等の割合

対象橋梁の路線種別の割合は、2級市道が1橋、その他の市道が2橋となっています。また、材料種別の割合は、鋼橋が3橋となっています。



[路線種別の割合]



[材料種別の割合]

※1：RCとは、鉄筋コンクリートのことで、鉄筋とコンクリートが一体となったものです。

※2：PCとは、プレストレストコンクリートのことで、鉄筋がコンクリートと一体となっただけではなく、あらかじめ鉄筋に圧縮応力を加えたものです。

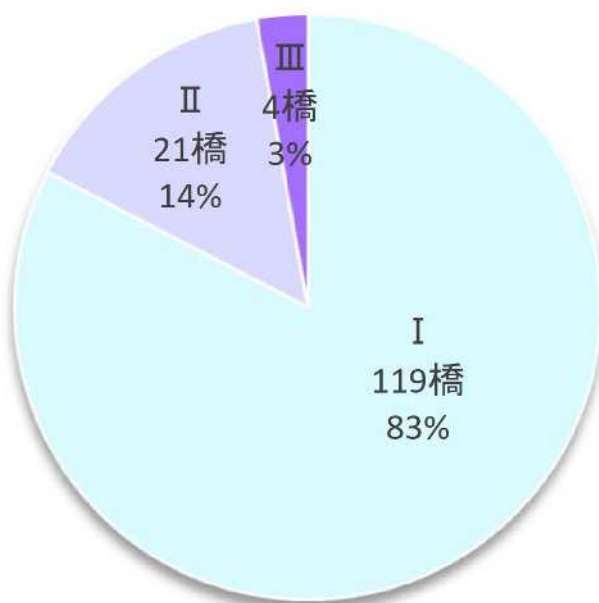
2

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

2.2 対象橋梁の健全性

2.2.1 対象橋梁の健全性（道路附属物等を除く）

定期点検により、道路橋毎の健全性の診断を行った結果、Ⅰ（健全）の橋梁が119橋(82%)、Ⅱ（予防保全段階）の橋梁が21橋(14%)、Ⅲ（早期措置段階）の橋梁が4橋(3%)でありました。



[健全性の診断の割合]

区分		定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から優先度の高いものから順に措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

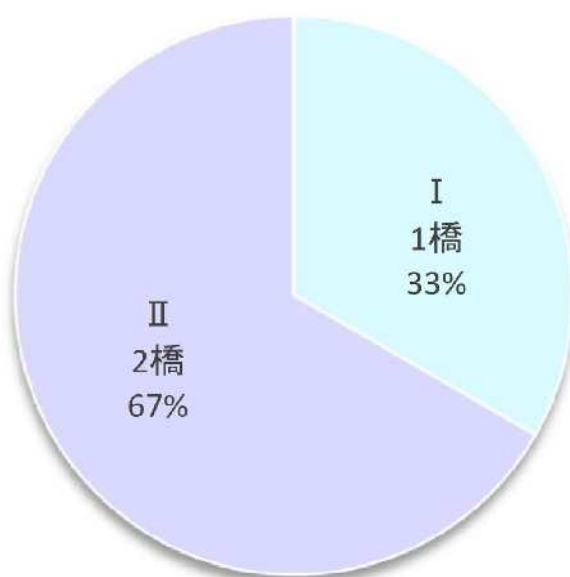
[判定区分表]

2

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

2.2.2 対象橋梁の健全性（道路附属物等）

定期点検により、道路橋毎の健全性の診断を行った結果、Ⅰ（健全）の橋梁がⅠ橋(33%)、Ⅱ（予防保全段階）の橋梁が2橋(67%) でありました。



[健全性の診断の割合]

区分		定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から優先度の高いものから順に措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

[判定区分表]

3

橋梁長寿命化修繕計画

措置の優先順位や事業費を基に、10年間の橋梁長寿命化年次計画表を策定します。

3.1 措置優先順位の設定

措置の優先順位については、健全性、社会的影響度、総合的個別条件を考慮して設定します。

3.2 対象橋梁毎の点検時期および措置内容・時期の設定

点検時期および措置内容・時期については、橋梁長寿命化年次計画表に示すとおりであります。今後の点検・診断結果や予算措置状況等を踏まえ計画を見直す場合があります。

3.3 計画による効果

3.3.1 計画による効果（道路附属物等を除く）

対症療法的な維持管理（事後保全型）から、損傷が軽微な段階に予防的な修繕等を実施する維持管理（予防保全型）へシフトすることで、橋梁の安全性・信頼性を確保し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

[試算結果](橋梁)

事後保全の場合 約49.84億円

予防保全の場合 約22.25億円(約27.59億円(約55.4%の縮減効果))



※当グラフは、点検記録等を基にモデル化し試算したものです。

[50年間の維持管理費の試算比較]

3

橋梁長寿命化修繕計画

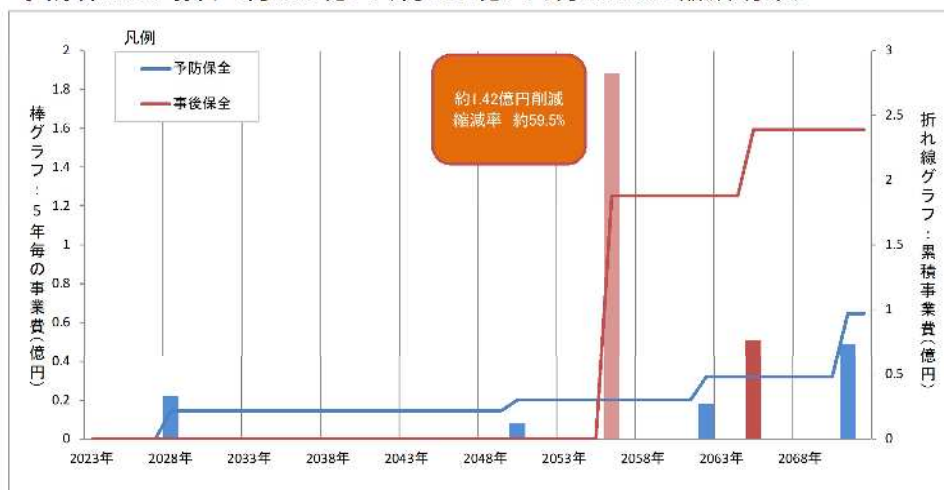
3.3.2 計画による効果（道路附属物等）

対症療法的な維持管理（事後保全型）から、損傷が軽微な段階に予防的な修繕等を実施する維持管理（予防保全型）へシフトすることで、橋梁の安全性・信頼性を確保し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

[試算結果](道路附属物等)

事後保全の場合 約2.39億円

予防保全の場合 約0.97億円(約1.42億円(約59.5%の縮減効果))



※当グラフは、点検記録等を基にモデル化し試算したものです。

[50年間の維持管理費の試算比較]

4 維持管理の基本方針

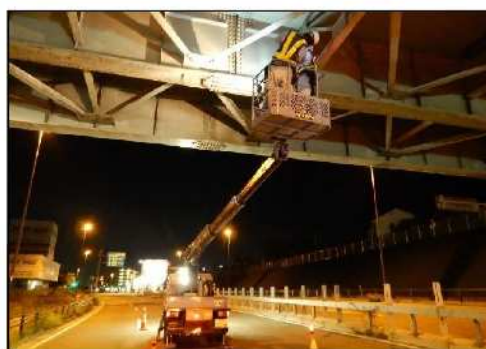
道路利用者や第三者に対する安全性・信頼性を確保するため、定期的な点検を実施することで、橋梁の健全性を把握するとともに損傷の早期発見に努めます。

4.1 定期点検

平成26年7月施行の道路法施行規則第4条5の5に基づき、必要な知識及び技能を有する者が近接目視により、5年に1回以内の頻度で定期点検を行います。



〔脚立による定期点検状況〕



〔高所作業車による定期点検状況〕

定期点検の結果に基づき、健全性の診断を4段階に分類し、橋梁の状態を把握します。

別添2 様式1様式2

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	上磯野橋 (フリガナ)カミコモノバシ	路線名	葛野8号線	所在地	福岡県古賀市葛野133	起点側経度	33° 43' 48.75"	橋梁ID	33.73021.130.33827
管理者名	古賀市	定期点検実施年月日	2020.10.26	路下条件	河川(大根川)	代路の有無	有	自等道の一般道	緊急輸送道路
								その他	無し

部材単位の診断(各部材内に最も悪い健全性の部材を記入)

定期点検時に記録

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食、曲げ応力の劣化	写真-1 主桁		
	横桁	II	腐食、曲げ応力の劣化	写真-2 横桁		
	床版	III	剥離・鉄筋露出、うき	写真-3 床版		
下部構造		I				
支承部	III	腐食、剥離、曲げ応力の劣化、 圧入、浮き、沈み、ずれ、 ひび割れ、等	写真-4 支承部、アンカーボルト			
その他	II	腐食、剥離、曲げ応力の劣化、 圧入、浮き、沈み、ずれ、 ひび割れ、等				

道路橋の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

III

全写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1967年	10.6m	4.7m

橋梁形式

H形鋼(非合流) 半重力式橋台

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

〔定期点検・診断の記録事例〕

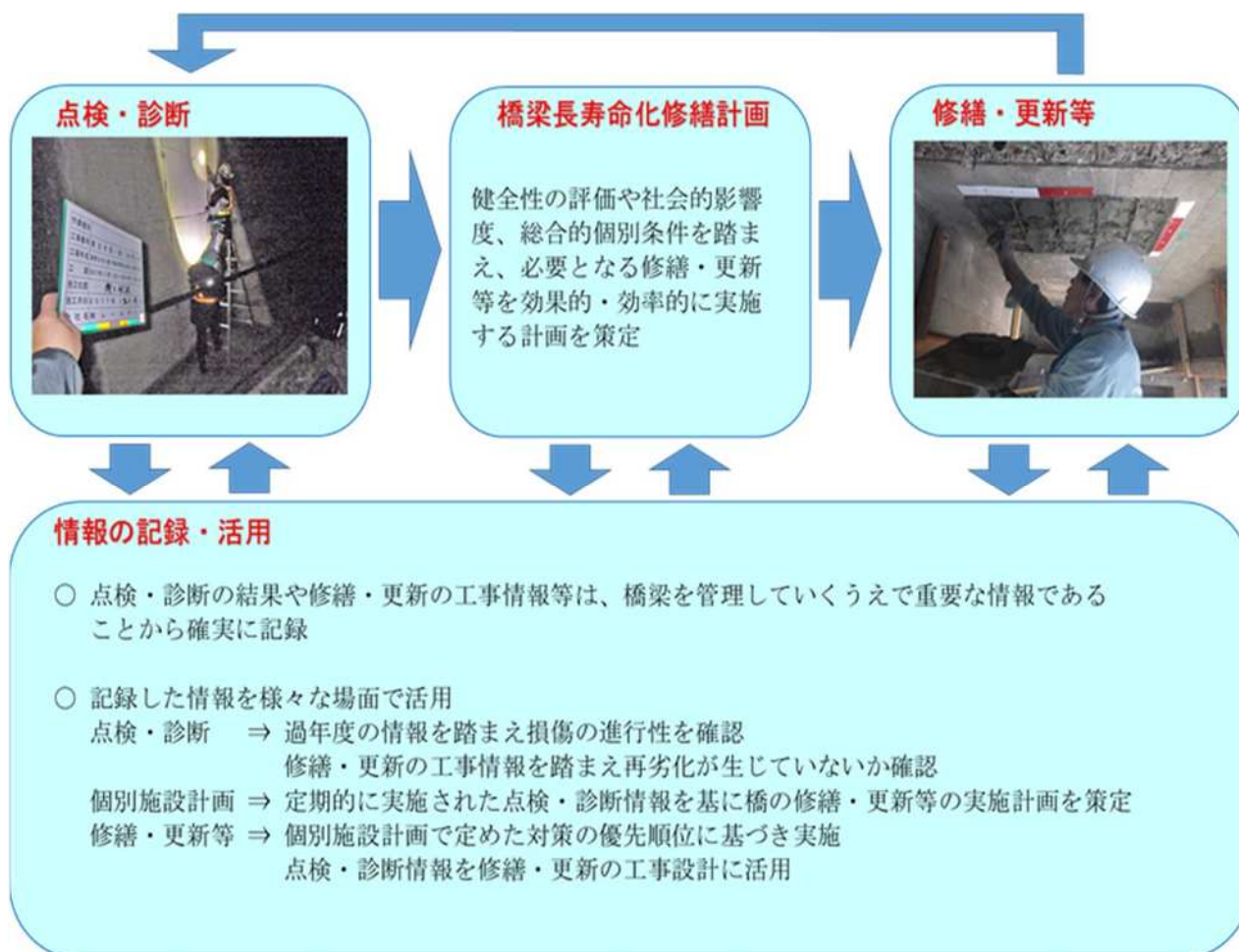
5

長寿命化及び修繕・架替えに係る基本方針

定期的な点検・診断により橋梁の状態を把握し、診断結果や社会的影響度等を踏まえ、対策の年次計画を策定するとともに、計画に基づく予防的な修繕を行う一連の流れのメンテナンスサイクルを構築します。

5.1 情報の保存及び活用

点検・診断や修繕・更新等の情報は、橋梁長寿命化修繕計画の策定や橋梁を維持管理していくうえで重要な情報であることから、各情報を保存するとともに、様々な場面で活用します。



[メンテナンスサイクルのイメージ]

6

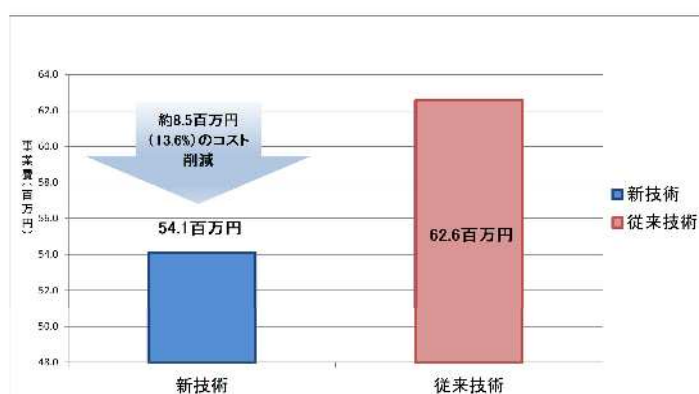
新技術等の活用

厳しい財政状況等を踏まえ、橋梁の維持管理の効率化やコスト縮減を図るには新技術・新工法の活用が必須です。そのため橋梁補修工事や橋梁点検において、新技術・新工法の活用を積極的に検討します。

6.1 橋梁補修工事での活用

6.1.1 橋梁補修工事での活用（道路附属物等を除く）

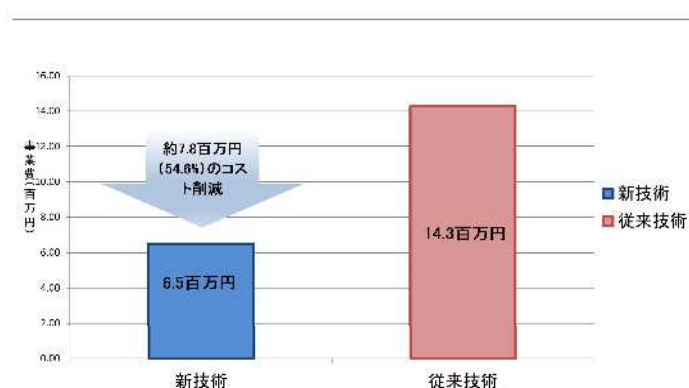
補修工事において全ての橋梁で設計段階での新技術・新工法の活用を検討し、3橋で活用することによって、今後5年間で約9百万円（約14%）のコスト縮減を目指します。



[橋梁補修工事における新技術活用によるコスト縮減効果]

6.1.2 橋梁補修工事での活用（道路附属物等）

補修工事において全ての道路附属物等で設計段階での新技術・新工法の活用を検討し、1橋で活用することによって、今後5年間で約8百万円（約55%）のコスト縮減を目指します。



[橋梁補修工事における新技術活用によるコスト縮減効果]

6

新技術等の活用

6.2 点検での活用（橋梁・道路附属物等）

橋梁点検において、今後5年間で点検手法ごとに従来技術と新技術の比較検討を行い、新技術・新工法の積極的な活用を目指します。

橋梁点検車や高所作業車を用いた点検において、約1割の新技術の活用を目指します。

6.3 集約化・撤去（橋梁・道路附属物等）

路線の重要度や迂回路の有無、利用状況や地元の意見を踏まえ、今後5年間で1橋程度、橋梁・道路附属物等の集約化や撤去について地元との円滑な合意形成を目指します。

このことにより、今後10年間で点検費9万円のコスト縮減を目指します。

7

意見を拝聴した学識経験者及び計画策定担当部署

意見を拝聴した学識経験者

九州大学 工学研究院 社会基盤部門
濱田 秀則 教授

計画策定担当部署

古賀市 建設産業部 建設課 TEL：092-942-5530

○ 計画対象橋梁一覧表

➤ 1級市道:11橋 2級市道:26橋 その他:107橋

整理番号	橋梁名	路線種別	路線名	整理番号	橋梁名	路線種別	路線名
1	前田橋	その他	古賀93号線	31	中川3号橋	その他	千鳥7号線
2	落合橋	その他	古賀99号線	32	中川5号橋	その他	高田26号線
3	庄橋	1級市道	牟田・栗原線	33	中川6号橋	その他	窪内5号線
4	五菜橋	2級市道	中道線	34	中川7号橋	その他	窪内6号線
5	新五菜橋	2級市道	中道線	35	中川8号橋	その他	高田22号線
6	石原橋	その他	久保1号線	36	中川9号橋	その他	窪内68号線
7	堀田橋	2級市道	東田・堀旋線	37	浦田川1号橋	その他	窪内70号線
8	久保橋	2級市道	千鳥・新原線	38	浦田川2号橋	その他	窪内71号線
9	蔵園橋	1級市道	高田・窪内線	39	花宮橋	1級市道	牟田・栗原線
10	大人橋	2級市道	大人線	40	牟田橋	その他	流10号線
11	麦田橋	2級市道	麦田線	41	鎌田1号橋	その他	流12号線
12	高柳橋	2級市道	今在家・新原線	42	鎌田2号橋	その他	高田4号線
13	迎田橋	1級市道	浜・大塚線	43	鎌田3号橋	その他	高田17号線
14	馬渡橋	1級市道	京田・馬渡線	44	落合2号橋	その他	庄14号線
15	樋門田橋	2級市道	川原健康線	45	牟田2号橋	1級市道	庄・通孝道線
16	久保跨道橋	その他	久保24号線	46	横枕橋	その他	庄28号線
17	深原跨道橋	その他	新原23号線	47	沼尻1号橋	その他	庄36号線
18	小瀬跨道橋	その他	町川原33号線	48	沼尻2号橋	その他	新原37号線
19	栗原橋	2級市道	栗王寺・麴野線	49	沼尻3号橋	その他	久保1号線
20	新田中橋	2級市道	栗王寺・麴野線	50	西反田橋	その他	今在家9号線
21	鶴田橋	2級市道	谷山・小竹線	51	竹ノ下橋	その他	今在家9号線
22	花津留川橋梁	その他	鹿部81号線	52	下戸藤橋	その他	今在家9号線
23	鹿部跨道橋	1級市道	浜・大塚線	53	百田橋	その他	町川原43号線
24	中間33号橋	1級市道	京田・馬渡線	54	中間31号橋	その他	青柳13号線
25	中川・東田線2橋	1級市道	中川・五菜線	55	中間32号橋	2級市道	神田線
26	千島津1号橋	その他	花見34号線	56	村中5号橋	その他	青柳15号線
27	千島津2号橋	その他	花見33号線	57	村中6号橋	その他	青柳30号線
28	千島津3号橋	その他	花見23号線	58	村中7号橋	その他	青柳32号線
29	西大橋	2級市道	翁・汐入線	59	ハンダ1号橋	その他	小竹9号線
30	中川2号橋	その他	花見60号線	60	前田3号橋	その他	小竹8号線

○ 計画対象橋梁一覧表

➤ 1級市道:11橋 2級市道:26橋 その他:107橋

整理番号	橋梁名	路線種別	路線名	整理番号	橋梁名	路線種別	路線名
61	井筒川1号橋	その他	青柳41号線	91	木谷1号橋	その他	米多比37号線
62	井筒川2号橋	その他	青柳39号線	92	木谷2号橋	その他	米多比38号線
63	井筒川3号橋	その他	小竹17号線	93	近道橋	その他	米多比25号線
64	天神橋	その他	町川原6号線	94	鳥越橋	その他	米多比45号線
65	梶園橋	2級市道	野口・梶園線	95	小瀬橋	その他	米多比44号線
66	下瀬戸橋	その他	小山田29号線	96	下西ノ前橋	その他	米多比43号線
67	上瀬戸橋	その他	小山田21号線	97	上西ノ前橋	その他	米多比40号線
68	深町橋	2級市道	水上・小山田線	98	水呑橋	その他	米多比40号線
69	前田2号橋	その他	栗王寺29号線	99	山ノ口橋	2級市道	興山園線
70	栗王寺橋	2級市道	栗王寺・谷山線	100	長養山橋	2級市道	興山園線
71	村中1号橋	その他	栗王寺21号線	101	宇治川11号橋	その他	麴野62号線
72	村中2号橋	その他	栗王寺20号線	102	宇治川12号橋	その他	麴野61号線
73	村中4号橋	その他	栗王寺18号線	103	宇治川13号橋	その他	米多比29号線
74	根神橋	その他	栗王寺11号線	104	宇治川14号橋	その他	麴野52号線
75	御寺橋	その他	栗王寺10号線	105	宇治川15号橋	その他	麴野51号線
76	御宮橋	その他	栗王寺9号線	106	宇治川16号橋	その他	麴野51号線
77	河内橋	2級市道	鬼王線	107	貝越橋	その他	麴野50号線
78	鬼王橋	2級市道	鬼王線	108	古野橋	その他	麴野51号線
79	井堀橋	その他	小山田14号線	109	中村橋	その他	麴野34号線
80	相原橋	その他	谷山5号線	110	吉住橋	その他	麴野45号線
81	谷山橋	2級市道	栗王寺・谷山線	111	石原2号橋	その他	麴野17号線
82	松葉橋	その他	谷山1号線	112	田中橋	その他	麴野18号線
83	栗師渡橋	その他	谷山4号線	113	清瀬橋	その他	麴野5号線
84	谷山上ノ橋	その他	谷山10号線	114	赤根橋	その他	麴野6号線
85	下地裏橋	その他	谷山10号線	115	車屋橋	その他	麴野8号線
86	愛宕橋	その他	谷山11号線	116	山ノ口2号橋	その他	麴野8号線
87	樋田橋	その他	町川原13号線	117	上瀬野橋	その他	麴野8号線
88	外輪崎橋	その他	米多比14号線	118	小谷橋	その他	麴野8号線
89	マナゴ橋	2級市道	米多比・中道線	119	井筒川10号橋	その他	小竹23号線
90	谷橋	2級市道	米多比・中道線	120	井筒川14号橋	その他	小竹7号線

○ 橋の基本諸元及び健全性

○ 橋の基本諸元及び健康性は

整理番号	1	2	3
フリガナ	マエタバシ	オチアイバシ	シヨウバシ
橋梁名	前田橋	落合橋	庄橋
橋梁番号	2546	2547	2548
路線種別	その他	その他	1級市道
路線名称	古賀93号線	古賀99号線	牟田・栗原線
路線番号	893	899	5
所在地	福岡県古賀市天神1丁目	福岡県古賀市東小1丁目	福岡県古賀市中央1丁目
橋長	39.98m	30.29m	39.28m
幅員	5.20m	5.00m	16.80m
架設年(西暦)	1955年	1975年	1980年
径間数	3	2	2
材料区分	RC	PC	PC
上部工形式	単塊、T桁橋	単純、プレテン床版橋	不明、プレテン床版橋
下部工形式	逆T式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、張出し式橋脚(円)	重力式橋台、壁式橋脚
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.35m
添架物	有	有	不明
伸縮装置の種類	その他	ゴムジョイント	ゴムジョイント
支承の種類	不明	不明	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	植害地区	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	2021年	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	4	5	6
フ リ ガ ナ	ゴラクバシ	シンゴラクバシ	イシハラバシ
橋 梁 名	五葉橋	新五葉橋	石原橋
橋 梁 番 号	2549-1	2549-2	2550
路 線 種 別	2級市道	2級市道	その他
路 線 名 称	中道線	中道線	久保1号線
路 線 番 号	65	65	651
所 在 地	福岡県古賀市中央2丁目	福岡県古賀市中央2丁目	福岡県古賀市新久保1丁目
橋 長	33.35m	33.28m	31.50m
幅 員	4.10m	5.30m	4.20m
架設年(西暦)	1962年	1962年	1959年
径 間 数	4	2	3
材 料 区 分	RC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、T桁橋	単純、プレテン床版橋	不明、T桁橋
下 部 工 形 式	重力式橋台、壁式橋脚	重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.92m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m
添 架 物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	鋼製	不明	その他
支 承 の 種 類	その他	ゴム	その他
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	2021年	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	7	8	9
フ リ ガ ナ	ホッタバシ	クボバシ	クラノハシ
橋 梁 名	堀田橋	久保橋	蔵園橋
橋 梁 番 号	2551	2552	2553
路 線 種 別	2級市道	2級市道	1級市道
路 線 名 称	東田・塩埴線	千鳥・新橋線	高田・延内線
路 線 番 号	68	67	12
所 在 地	福岡県古賀市新久保1丁目	福岡県古賀市新久保1丁目	福岡県古賀市延内
橋 長	30.20m	27.49m	24.70m
幅 員	5.60m	6.45m	6.20m
架設年(西暦)	1959年	1959年	1969年
径 間 数	3	2	2
材 料 区 分	RC	RC	PC
上 部 工 形 式	不明、T桁橋	単純、T桁橋	不明、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台、壁式橋脚	逆丁式橋台、壁式橋脚	重力式橋台、壁式橋脚
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.09m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.71m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.89m
添 架 物	不明	有	不明
伸縮装置の種類	不明	鋼製	不明
支 承 の 種 類	その他	その他	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定あり	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	2021年
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	10	11	12
フリ ガ ナ	オオヒトバシ	ムギタバシ	タカヤナギバシ
橋 梁 名	大入橋	麦田橋	高柳橋
橋 梁 番 号	2554	2555	2556
路 線 種 別	2級市道	2級市道	2級市道
路 線 名 称	大入線	麦田線	今在家・新原線
路 線 番 号	84	83	70
所 在 地	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市今在家
橋 長	19.12m	16.68m	38.10m
幅 員	7.00m	7.20m	3.00m
架設年(西暦)	1974年	1977年	1960年
径 間 数	1	1	4
材 料 区 分	PC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋	不明、T桁橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	半重力式橋台	その他(橋台)、バイルベント橋脚
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.08m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.82m
添 架 物	無	不明	有
伸縮装置の種類	鋼製	不明	不明
支 承 の 種 類	その他	その他	その他
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	2014年	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	13	14	15
フリ ガ ナ	ムカイダバシ	ヒンドバシ	ヒモンデンバシ
橋 梁 名	迎田橋	馬渡橋	樋門田橋
橋 梁 番 号	2557	2558	2560
路 線 種 別	1級市道	1級市道	2級市道
路 線 名 称	荒・大塚線	京田・馬渡線	川原能線
路 線 番 号	9	16	79
所 在 地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市川原
橋 長	24.08m	27.80m	16.13m
幅 員	3.40m	17.80m	3.50m
架設年(西暦)	1959年	1998年	1956年
径 間 数	3	1	2
材 料 区 分	RC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、T桁橋	単純、ボステンT桁橋	単純、T桁橋
下 部 工 形 式	重力式橋台、壁式橋脚	重力式橋台	重力式橋台、壁式橋脚
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.35m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.02m
添 架 物	無	不明	無
伸縮装置の種類	鋼製	ゴムジョイント	鋼製
支 承 の 種 類	その他	ゴム	不明
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定あり	指定なし
自動車交通量	小	中	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	16	17	18
フ リ ガ ナ	クボコドウキョウ	フカハラコドウキョウ	コウラコドウキョウ
橋 梁 名	久保跨道橋	深原跨道橋	小瀬跨道橋
橋 梁 番 号	2562	2563	2564
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	久保24号線	新原33号線	町川原33号線
路 線 番 号	674	1923	2133
所 在 地	福岡県古賀市新久保2丁目	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市青柳町
橋 長	34.50m	39.40m	52.40m
幅 員	8.80m	4.80m	6.10m
架設年(西暦)	1969年	1976年	1973年
径 間 数	1	3	3
材 料 区 分	鋼	PC	PC
上 部 工 形 式	単絨、H桁橋	不明、ラーメン橋	不明、ボクタン床版橋
下 部 工 形 式	逆T式橋台	盛りこぼし橋台、壁式橋脚	逆T式橋台、その他(橋脚)
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:コンクリート 形状:コンクリート壁式 高さ:0.95m
添 架 物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	鋼製	その他	鋼製
支 承 の 種 類	鋼製	不明	鋼製
交 差 条 件	道路	道路	道路
設計活荷重	TL-14	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	有	有	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	2002年	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	II	II

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	19	20	21
フ リ ガ ナ	クハハラバン	シンタナカバン	スルメダバン
橋 梁 名	栗原橋	新田中橋	鱒田橋
橋 梁 番 号	2565	2566	2567
路 線 種 別	2級市道	2級市道	2級市道
路 線 名 称	薬王寺・鷹野線	薬王寺・鷹野線	谷山・小竹線
路 線 番 号	92	92	93
所 在 地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市鷹野	福岡県古賀市青柳
橋 長	10.95m	15.70m	27.09m
幅 員	8.80m	8.70m	8.70m
架設年(西暦)	1960年	1979年	1978年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	PC	PC
上 部 工 形 式	単絨、BOXカルバート	単絨、プレテンT桁橋	単絨、ボクタンT桁橋
下 部 工 形 式	BOXカルバート	逆T式橋台	半重式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.98m
添 架 物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	無	鋼製	ゴムジョイント
支 承 の 種 類	無	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	22	23	24
フ リ ガ ナ	カヅルガワキョウリョウ	シンブコセキョウ	チュウケンキョウサンゴウバン
橋 梁 名	花津留川橋梁	鹿部跨線橋	中間給3号橋
橋 梁 番 号	2570	2571	2572
路 線 種 別	その他	1級市道	1級市道
路 線 名 称	鹿部81号線	浜・大塚線	京田・馬渡線
路 線 番 号	1081	9	16
所 在 地	福岡県古賀市日吉2丁目	福岡県古賀市日吉	福岡県古賀市青柳
橋 長	77.40m	282.75m	5.10m
幅 員	5.12m	8.00m	24.25m
架設年(西暦)	2015年	2021年	1990年
径 間 数	3	10	1
材 料 区 分	PC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	連続、プレテン1桁橋	単純、BOXカルバート
下 部 工 形 式	逆T式橋台、張出し式橋脚(小判)	逆T式橋台、壁式橋脚	BOXカルバート
基 礎 形 式	直接基礎	場所打ぐい(深礎を含む)	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m	材料:コンクリート 形状:その他 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.30m
添 架 物	無	有	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	鋼製	無
支 承 の 種 類	ゴム	鋼製	無
交 差 条 件	河川	鉄道	河川
設計活荷重		T-25	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	通常
第三者被害	無	有	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	大	大	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	有	有	無
耐震補強歴	不明	無	無
塗装 歴	不明	不明	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	25	26	27
フ リ ガ ナ	ナカガワ・トウデンセンターRキョウ	チドリミゾキョウキョウ	チドリミゾニゴウキョウ
橋 梁 名	中川・東田線JR橋	千鳥溝1号橋	千鳥溝2号橋
橋 梁 番 号	2573	3003	3004
路 線 種 別	1級市道	その他	その他
路 線 名 称	中川・五美線	花見34号線	花見33号線
路 線 番 号	7	134	133
所 在 地	福岡県古賀市駅東4丁目	福岡県古賀市花見東3丁目	福岡県古賀市花見東3丁目
橋 長	14.80m	2.45m	2.49m
幅 員	15.00m	3.74m	3.60m
架設年(西暦)	1996年	1946年	1950年
径 間 数	3	1	1
材 料 区 分	RC	PC	RC
上 部 工 形 式	不明、BOXカルバート	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	BOXカルバート、BOXカルバート	その他(橋台)	その他(橋台)
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.72m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.72m
添 架 物	不明	無	有
伸縮装置の種類	無	無	不明
支 承 の 種 類	無	エラストイト	不明
交 差 条 件	道路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	塩害地区
第三者被害	有	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定あり	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	大	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	不明	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	28	29	30
フ リ ガ ナ	チドリミソサンゴウキョウ	ニシオオハシ	ナカガワニゴウキョウ
橋 梁 名	千鳥溝3号橋	西大橋	中川2号橋
橋 梁 番 号	3005	3006	3007
路 線 種 別	その他	2級市道	その他
路 線 名 称	花見23号線	翁・汐入線	花見60号線
路 線 番 号	123	52	160
所 在 地	福岡県古賀市花見東2丁目	福岡県古賀市花見南3丁目	福岡県古賀市花見南2丁目
橋 長	2.20m	12.00m	11.50m
幅 員	4.80m	9.85m	2.70m
架設年(西暦)	1970年	1985年	1985年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	PC	鋼
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋	単純、H桁橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	逆T式橋台	逆T式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.20m
添 架 物	有	有	無
伸縮装置の種類	無	鋼製	無
支 承 の 種 類	エラスタイト	ゴム	鋼製
交 差 条 件	水路	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	塩害地区
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定あり	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装 歴	無	無	不明
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	31	32	33
フ リ ガ ナ	ナカガワサンゴウキョウ	ナカガワゴウキョウ	ナカガワロクゴウキョウ
橋 梁 名	中川3号橋	中川5号橋	中川6号橋
橋 梁 番 号	3008	3009	3010
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	千鳥7号線	高田28号線	筥内5号線
路 線 番 号	307	776	1255
所 在 地	福岡県古賀市千鳥1丁目	福岡県古賀市筥内	福岡県古賀市筥内
橋 長	12.20m	4.50m	3.70m
幅 員	6.20m	8.40m	6.30m
架設年(西暦)	1984年	1970年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添 架 物	有	有	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	無	不明
支 承 の 種 類	ゴム	不明	不明
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	34	35	36
フ リ ガ ナ	ナカガワナナゴウキョウ	ナカガワハナゴウキョウ	ナカガワキユウゴウキョウ
橋 梁 名	中川7号橋	中川8号橋	中川9号橋
橋 梁 番 号	3011	3012	3013
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	筥内6号線	高田22号線	筥内68号線
路 線 番 号	1256	772	1318
所 在 地	福岡県古賀市筥内	福岡県古賀市筥内	福岡県古賀市筥内
橋 長	4.75m	8.25m	4.57m
幅 員	9.00m	8.27m	4.45m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	PC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:0.95m
添 架 物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支 承 の 種 類	不明	その他	不明
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	III

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	37	38	39
フ リ ガ ナ	ウラタガワイチゴウキョウ	ウラタガウィゴウキョウ	ハナミヤバシ
橋 梁 名	浦田川1号橋	浦田川2号橋	花宮橋
橋 梁 番 号	3014	3015	3016
路 線 種 別	その他	その他	1級市道
路 線 名 称	筥内70号線	筥内71号線	幸田・栗原線
路 線 番 号	1320	1321	5
所 在 地	福岡県古賀市筥内	福岡県古賀市筥内	福岡県古賀市千鳥1丁目
橋 長	2.90m	3.00m	7.00m
幅 員	4.10m	3.05m	16.00m
架設年(西暦)	1960年	1950年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	PC
上 部 工 形 式	単純、BOXカルバート	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	BOXカルバート	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	材料:鋼 形状:施設用防護柵 高さ:1.00m
添 架 物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	無	不明	ゴムジョイント
支 承 の 種 類	無	不明	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	中
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	II	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	40	41	42
フリガナ	ムタバシ	カマタイチゴウキョウ	カマタイチゴウキョウ
橋梁名	牟田橋	鎌田1号橋	鎌田2号橋
橋梁番号	3017	3018	3019
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	流10号線	流12号線	高田4号線
路線番号	460	462	754
所在地	福岡県古賀市中央5丁目	福岡県古賀市新久保2丁目	福岡県古賀市久保
橋長	5.90m	3.30m	3.75m
幅員	3.70m	4.50m	9.85m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.72m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.96m
添架物	不明	無	有
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支承の種類	不明	不明	エラスタイト
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定あり	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	43	44	45
フリガナ	カマタサンゴウキョウ	オチアイニゴウキョウ	ムタニゴウキョウ
橋梁名	鎌田3号橋	落合2号橋	牟田2号橋
橋梁番号	3020	3021	3023
路線種別	その他	その他	1級市道
路線名称	高田17号線	庄14号線	庄・通学道線
路線番号	767	1164	10
所在地	福岡県古賀市久保	福岡県古賀市今の庄2丁目	福岡県古賀市今の庄3丁目
橋長	2.82m	2.80m	4.20m
幅員	3.99m	4.75m	6.85m
架設年(西暦)	1960年	1980年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、プレテン床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	その他(橋台)	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.12m
添架物	有	無	有
伸縮装置の種類	無	エラスタイト	無
支承の種類	ゴム	エラスタイト	ゴム
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	不明
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	46	47	48
フ リ ガ ナ	ヨコマクラバシ	ヌマジリイチゴウキョウ	ヌマジリニゴウキョウ
橋 梁 名	横枕橋	沼尻1号橋	沼尻2号橋
橋 梁 番 号	3024	3026	3027
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	庄28号線	庄36号線	新原37号線
路 線 番 号	1178	1186	1937
所 在 地	福岡県古賀市今の庄2丁目	福岡県古賀市今の庄3丁目	福岡県古賀市庄
橋 長	3.48m	4.71m	4.80m
幅 員	6.20m	6.70m	8.10m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:鋼 高さ:0.83m	材料:鋼 形状:その他 高さ:0.77m
添 架 物	不明	不明	不明
伸縮装置の種類	不明	不明	不明
支 承 の 種 類	ゴム	不明	ゴム
交 差 条 件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	49	50	51
フ リ ガ ナ	ヌマジリサンゴウキョウ	シタンダバシ	タケガシバシ
橋 梁 名	沼尻3号橋	四反田橋	竹ノ下橋
橋 梁 番 号	3028	3031	3032
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	久保1号線	今在家9号線	今在家9号線
路 線 番 号	651	2009	2009
所 在 地	福岡県古賀市庄	福岡県古賀市今在家	福岡県古賀市今在家
橋 長	2.35m	2.20m	2.05m
幅 員	3.35m	3.65m	6.05m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添 架 物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	無	不明
支 承 の 種 類	不明	エラストイト	不明
交 差 条 件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	52	53	54
フリガナ	シモトフジバシ	モモタバシ	チュウゲンキウイゴウバシ
橋 梁 名	下戸藤橋	百田橋	中間給1号橋
橋 梁 番 号	3033	3037	3039
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	今在家9号線	町川原43号線	青柳13号線
路 線 番 号	2009	2143	2213
所 在 地	福岡県古賀市今在家	福岡県古賀市青柳町	福岡県古賀市青柳
橋 長	2.70m	2.25m	4.50m
幅 員	3.60m	5.30m	4.75m
架設年(西暦)	1960年	1981年	1950年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添 架 物	有	不明	有
伸縮装置の種類	無	不明	無
支 承 の 種 類	不明	ゴム	不明
交 差 条 件	水路	水路	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	不明	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	55	56	57
フリガナ	チュウゲンキウニゴウバシ	ムラナカゴゴウバシ	ムラナカゴゴウバシ
橋 梁 名	中間給2号橋	村中5号橋	村中6号橋
橋 梁 番 号	3040	3041	3042
路 線 種 別	2級市道	その他	その他
路 線 名 称	神田線	青柳15号線	青柳30号線
路 線 番 号	72	2215	2230
所 在 地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳
橋 長	5.30m	4.05m	2.71m
幅 員	4.35m	6.00m	8.68m
架設年(西暦)	1950年	1980年	1960年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、BOXカルバート	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	BOXカルバート	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.28m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.01m	無
添 架 物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	エラストイト
支 承 の 種 類	ゴム	無	エラストイト
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定あり	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	58	59	60
フ リ ガ ナ	ムラナカナナゴウハシ	ハシダイチゴウキョウ	マエダサンゴウキョウ
橋 梁 名	村中7号橋	ハンダ1号橋	前田3号橋
橋 梁 番 号	3043	3044	3045
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	青柳32号線	小竹9号線	小竹8号線
路 線 番 号	2232	2309	2308
所 在 地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋 長	2.90m	2.65m	2.60m
幅 員	3.83m	8.00m	5.00m
架設年(西暦)	1960年	1970年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	半重力式橋台	重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m
添 架 物	無	有	有
伸縮装置の種類	エラストイト	エラストイト	無
支 承 の 種 類	エラストイト	エラストイト	不明
交 差 条 件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	61	62	63
フ リ ガ ナ	イツツガワイチゴウキョウ	イツツガワニゴウキョウ	イツツガワサンゴウキョウ
橋 梁 名	井筒川1号橋	井筒川2号橋	井筒川3号橋
橋 梁 番 号	3046	3047	3048
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	青柳41号線	青柳39号線	小竹17号線
路 線 番 号	2241	2239	2317
所 在 地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市小竹
橋 長	7.10m	6.20m	5.80m
幅 員	4.10m	4.70m	3.60m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m
添 架 物	無	不明	有
伸縮装置の種類	無	不明	無
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定あり	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	II	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	64	65	66
フ リ ガ ナ	テンジンパン	ヒケゾノパン	シモセトパン
橋 梁 名	天神橋	龍園橋	下瀬戸橋
橋 梁 番 号	3049	3050	3051
路 線 種 別	その他	2級市道	その他
路 線 名 称	町川原6号線	野口・龍園線	小山田23号線
路 線 番 号	2106	78	1723
所 在 地	福岡県古賀市川原	福岡県古賀市川原	福岡県古賀市小山田
橋 長	13.63m	13.16m	10.54m
幅 員	3.00m	6.80m	3.95m
架設年(西暦)	1960年	1970年	1950年
径 間 数	2	1	2
材 料 区 分	PC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋	不明、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台	半重力式橋台、壁式橋脚
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.05m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m
添 架 物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	エラストイ	不明	不明
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	67	68	69
フ リ ガ ナ	カミセトパン	フカマチパン	マエタニゴウキヨウ
橋 梁 名	上瀬戸橋	深町橋	前田2号橋
橋 梁 番 号	3052	3053	3054
路 線 種 別	その他	2級市道	その他
路 線 名 称	小山田21号線	水上・小山田線	薬王寺29号線
路 線 番 号	1721	89	1629
所 在 地	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺
橋 長	11.10m	9.05m	11.00m
幅 員	4.70m	5.20m	4.00m
架設年(西暦)	1950年	1960年	1960年
径 間 数	2	2	2
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	不明、床版橋	不明、T桁橋	不明、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	無
添 架 物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	70	71	72
フ リ ガ ナ	ヤクオウジバン	ムラナカイゴウキョウ	ムラナカイゴウキョウ
橋 梁 名	薬王寺橋	村中1号橋	村中2号橋
橋 梁 番 号	3055	3056	3057
路 線 種 別	2総市道	その他	その他
路 線 名 称	薬王寺・谷山線	薬王寺21号線	薬王寺20号線
路 線 番 号	87	1621	1620
所 在 地	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺
橋 長	9.20m	6.70m	6.70m
幅 員	7.72m	4.60m	5.00m
架設年(西暦)	1980年	1988年	1992年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	PC	PC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	重力式橋台	重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.25m
添 架 物	無	無	無
伸縮装置の種類	エラストイト	エラストイト	エラストイト
支 承 の 種 類	エラストイト	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定あり	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	73	74	75
フ リ ガ ナ	ムラナカイゴウキョウ	ネガミバン	オチラバン
橋 梁 名	村中4号橋	根神橋	御寺橋
橋 梁 番 号	3058	3059	3060
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	薬王寺18号線	薬王寺11号線	薬王寺10号線
路 線 番 号	1618	1611	1610
所 在 地	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺
橋 長	6.70m	8.12m	6.50m
幅 員	4.60m	4.59m	4.80m
架設年(西暦)	1990年	1960年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、1桁橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.97m
添 架 物	無	不明	無
伸縮装置の種類	エラストイト	不明	無
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定あり	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	76	77	78
フ リ ガ ナ	オミヤバシ	コウチバシ	オニオウバシ
橋 梁 名	御宮橋	河内橋	鬼王橋
橋 梁 番 号	3061	3062	3063
路 線 種 別	その他	2級市道	2級市道
路 線 名 称	栗王寺9号線	鬼王線	鬼王線
路 線 番 号	1609	88	88
所 在 地	福岡県古賀市栗王寺	福岡県古賀市栗王寺	福岡県古賀市栗王寺
橋 長	7.10m	6.50m	5.20m
幅 員	4.30m	10.10m	3.90m
架設年(西暦)	1960年	1950年	1950年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.78m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	無
添 架 物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	無	無
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	無
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	79	80	81
フ リ ガ ナ	イホリバシ	アイハラバシ	タニヤマバシ
橋 梁 名	井堀橋	相原橋	谷山橋
橋 梁 番 号	3067	3068	3069
路 線 種 別	その他	その他	2級市道
路 線 名 称	小山田14号線	谷山5号線	栗王寺・谷山線
路 線 番 号	1714	1805	87
所 在 地	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山
橋 長	3.40m	13.00m	12.54m
幅 員	3.60m	5.20m	7.70m
架設年(西暦)	1950年	1980年	1980年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	PC	PC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.10m
添 架 物	無	無	不明
伸縮装置の種類	不明	その他	不明
支 承 の 種 類	不明	ゴム	ゴム
交 差 条 件	水路	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	82	83	84
フリガナ	マツバハシ	ヤクシヤマハシ	タニヤマカミノハシ
橋梁名	松葉橋	葉師緑橋	谷山ノノ橋
橋梁番号	3070	3071	3072
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	谷山1号線	谷山4号線	谷山10号線
路線番号	1801	1804	1810
所在地	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山
橋長	12.32m	8.70m	10.39m
幅員	3.96m	3.90m	6.20m
架設年(西暦)	1960年	1950年	2000年
径間数	2	1	1
材料区分	RC	RC	PC
上部工形式	単純、床版橋	単純、T桁橋	単純、プレテン床版橋
下部工形式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台	逆T式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.80m	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:橋設用防護柵 高さ:1.00m
添架物	有	有	有
伸縮装置の種類	エラストイト	無	ゴムジョイント
支承の種類	エラストイト	ゴム	不明
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	A活荷重
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	85	86	87
フリガナ	シモジウラハシ	アタゴハシ	トイダバシ
橋梁名	下地裏橋	愛后橋	緑田橋
橋梁番号	3073	3074	3075
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	谷山10号線	谷山11号線	町川原13号線
路線番号	1810	1811	2113
所在地	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山
橋長	8.30m	7.80m	5.40m
幅員	4.50m	4.80m	5.60m
架設年(西暦)	1960年	1950年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、T桁橋	単純、T桁橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.08m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.70m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m
添架物	無	有	不明
伸縮装置の種類	無	不明	不明
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	無	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	88	89	90
フ リ ガ ナ	ソトワザキハン	マナゴバン	タニバン
橋 梁 名	外輪崎橋	マナゴ橋	谷橋
橋 梁 番 号	3076	3077	3078
路 線 種 別	その他	2級市道	2級市道
路 線 名 称	米多比14号線	米多比・中道線	米多比・中道線
路 線 番 号	1514	85	85
所 在 地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋 長	11.22m	6.40m	5.60m
幅 員	9.05m	11.20m	8.30m
架設年(西暦)	2000年	2005年	1950年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、BOXカルバート	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	BOXカルバート	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.01m	材料:コンクリート 形状:コンクリート壁式 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m
添 架 物	有	無	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	無	無
支 承 の 種 類	不明	無	不明
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	A活荷重	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定あり	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	有	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	91	92	93
フ リ ガ ナ	ホンタニイサゴウキョウ	ホンタニニゴウキョウ	チカミチバン
橋 梁 名	本谷1号橋	本谷2号橋	近道橋
橋 梁 番 号	3079	3080	3081
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	米多比37号線	米多比38号線	米多比25号線
路 線 番 号	1537	1538	1535
所 在 地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋 長	3.34m	4.05m	6.70m
幅 員	3.50m	4.30m	8.03m
架設年(西暦)	1950年	1960年	1990年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	その他(橋台)	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.22m
添 架 物	無	有	有
伸縮装置の種類	不明	無	エラストイト
支 承 の 種 類	エラストイト	不明	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	不明	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	94	95	96
フリガナ	トリゴエバシ	コウラバシ	シモニシノマエバシ
橋梁名	鳥越橋	小淵橋	下西ノ前橋
橋梁番号	3082	3083	3084
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	米多比45号線	米多比44号線	米多比43号線
路線番号	1545	1544	1543
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋長	5.71m	6.92m	5.90m
幅員	2.80m	5.67m	4.50m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、T桁橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.15m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添架物	不明	不明	不明
伸縮装置の種類	不明	不明	不明
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	97	98	99
フリガナ	カミニシノマエバシ	ミズノミハシ	ヤマノクチバシ
橋梁名	上西ノ前橋	水巻橋	山ノ口橋
橋梁番号	3085	3086	3087
路線種別	その他	その他	2線市道
路線名称	米多比40号線	米多比40号線	興山園線
路線番号	1540	1540	86
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋長	6.30m	6.35m	5.00m
幅員	4.40m	3.90m	4.50m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	無
添架物	不明	無	不明
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	無
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	100	101	102
フ リ ガ ナ	ナガハヤマバシ	ウシガワイチゴウキョウ	ウシガワニゴウキョウ
橋 梁 名	長葉山橋	宇治川1号橋	宇治川2号橋
橋 梁 番 号	3088	3091	3092
路 線 種 別	2級市道	その他	その他
路 線 名 称	興山園線	麓野61号線	麓野61号線
路 線 番 号	86	1462	1461
所 在 地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市米多比
橋 長	4.40m	6.20m	13.50m
幅 員	5.00m	5.90m	14.10m
架設年(西暦)	1960年	1980年	1986年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、BOXカルバート
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	BOXカルバート
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.96m
添 架 物	不明	有	無
伸縮装置の種類	不明	無	無
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	無
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	無	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	103	104	105
フ リ ガ ナ	ウシガワサンゴウキョウ	ウシガワヨンゴウキョウ	ウシガワゴウキョウ
橋 梁 名	宇治川3号橋	宇治川4号橋	宇治川5号橋
橋 梁 番 号	3093	3094	3095
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	米多比29号線	麓野52号線	麓野51号線
路 線 番 号	1529	1452	1451
所 在 地	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野
橋 長	5.60m	3.31m	3.50m
幅 員	3.10m	3.30m	2.70m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	その他(橋台)	重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添 架 物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	無	無
支 承 の 種 類	ゴム	エラストイト	エラストイト
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	106	107	108
フ リ ガ ナ	ウジガワロクゴウキョウ	カイジバン	フルノバン
橋 梁 名	宇治川6号橋	貝地橋	古野橋
橋 梁 番 号	3096	3097	3098
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	麓野51号線	麓野51号線	麓野51号線
路 線 番 号	1451	1450	1451
所 在 地	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野
橋 長	2.20m	3.70m	3.27m
幅 員	4.20m	3.60m	4.76m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添 架 物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	不明	エラストイト
支 承 の 種 類	不明	ゴム	エラストイト
交 差 条 件	河川	水路	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	109	110	111
フ リ ガ ナ	ナカムラバン	ヨシズミバン	イシハラニゴウキョウ
橋 梁 名	中村橋	吉住橋	石原2号橋
橋 梁 番 号	3099	3100	3101
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	麓野34号線	麓野45号線	麓野17号線
路 線 番 号	1434	1445	1417
所 在 地	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野
橋 長	13.73m	13.85m	10.40m
幅 員	4.00m	4.40m	3.70m
架設年(西暦)	1950年	1960年	1936年
径 間 数	2	2	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	不明、床版橋	単純、床版橋	単純、T桁橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.05m	材料:コンクリート 形状:その他 高さ:0.43m
添 架 物	不明	有	不明
伸縮装置の種類	不明	エラストイト	無
支 承 の 種 類	ゴム	エラストイト	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	III

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	112	113	114
フ リ ガ ナ	タナカバシ	キヨタキバシ	アカネバシ
橋 梁 名	田中橋	清瀬橋	赤根橋
橋 梁 番 号	3102	3104	3105
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	麓野18号線	麓野19号線	麓野6号線
路 線 番 号	1418	1405	1406
所 在 地	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野
橋 長	13.16m	9.50m	9.80m
幅 員	4.30m	4.50m	3.00m
架設年(西暦)	1960年	1932年	1950年
径 間 数	2	1	1
材 料 区 分	鋼	RC	RC
上 部 工 形 式	不明、H桁橋	単純、T桁橋	単純、T桁橋
下 部 工 形 式	逆T式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m	材料:コンクリート 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.72m	無
添 架 物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	無
支 承 の 種 類	その他	不明	不明
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	不明	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	115	116	117
フ リ ガ ナ	クルマヤバシ	ヤマノクサニゴウキヨウ	カミコモノバシ
橋 梁 名	車屋橋	山ノ口2号橋	上 麓野橋
橋 梁 番 号	3106	3107	3108
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	麓野8号線	麓野8号線	麓野8号線
路 線 番 号	1408	1408	1408
所 在 地	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市麓野
橋 長	9.60m	4.20m	10.60m
幅 員	5.10m	4.52m	4.70m
架設年(西暦)	1960年	1950年	1966年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	RC	鋼
上 部 工 形 式	単純、プレテン床版橋	単純、T桁橋	単純、H桁橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレープ 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m
添 架 物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	不明	無
支 承 の 種 類	ゴム	ゴム	鋼製
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	無	無
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	不明
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	118	119	120
フ リ ガ ナ	コタニバン	イツツガワジュエウゴウキョウ	イツツガワヨングウキョウ
橋 梁 名	小谷橋	井筒川10号橋	井筒川4号橋
橋 梁 番 号	3109	3110	3111
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	麓野8号線	小竹29号線	小竹7号線
路 線 番 号	1408	2323	2307
所 在 地	福岡県古賀市麓野	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋 長	4.96m	4.58m	4.00m
幅 員	4.12m	7.30m	5.20m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.86m
添 架 物	不明	無	有
伸縮装置の種類	不明	エラストイト	エラストイト
支 承 の 種 類	ゴム	エラストイト	エラストイト
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	無	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	121	122	123
フ リ ガ ナ	イツツガワゴウキョウ	ハンダニゴウキョウ	ハヤシダイチゴウキョウ
橋 梁 名	井筒川5号橋	ハンダ2号橋	林田1号橋
橋 梁 番 号	3112	3113	3114
路 線 種 別	その他	その他	2線市道
路 線 名 称	小竹22号線	小竹21号線	栗王寺・麴野線
路 線 番 号	2322	2321	92
所 在 地	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市米多比
橋 長	4.72m	2.65m	2.50m
幅 員	5.10m	4.45m	9.32m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1980年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、BOXカルバート
下 部 工 形 式	半重力式橋台	重力式橋台	BOXカルバート
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.79m	材料:鋼 形状:ガードレープ 高さ:0.78m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.78m
添 架 物	有	有	不明
伸縮装置の種類	エラストイト	不明	無
支 承 の 種 類	エラストイト	エラストイト	無
交 差 条 件	河川	水路	道路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	124	125	126
フ リ ガ ナ	ハヤシダニゴウキョウ	タチバナダバシ	ナカガウジウゴウキョウ
橋 梁 名	林田2号橋	立花田橋	中川10号橋
橋 梁 番 号	3115	3116	3117
路 線 種 別	2級市道	2級市道	その他
路 線 名 称	栗王寺・麴野線	栗王寺・麴野線	延内108号線
路 線 番 号	92	92	1358
所 在 地	福岡県古賀市麴野	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市延内
橋 長	2.20m	8.10m	4.56m
幅 員	19.00m	8.70m	4.60m
架設年(西暦)	1980年	1979年	1980年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、BOXカルバート	単純、プレテン床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	BOXカルバート	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:コンクリート 形状:その他 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.88m
添 架 物	不明	不明	無
伸縮装置の種類	無	不明	エラストイト
支 承 の 種 類	無	ゴム	エラストイト
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	無
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	127	128	129
フ リ ガ ナ	ヒノバシ	イツツガワロクゴウキョウ	イツツガワナゴウキョウ
橋 梁 名	日野橋	井筒川6号橋	井筒川7号橋
橋 梁 番 号	3118	3119	3120
路 線 種 別	1級市道	その他	その他
路 線 名 称	石瓦線	小竹33号線	小竹34号線
路 線 番 号	15	2333	2334
所 在 地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋 長	2.30m	3.84m	3.90m
幅 員	7.70m	6.20m	5.10m
架設年(西暦)	1980年	1970年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、BOXカルバート	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	BOXカルバート	半重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添 架 物	無	有	有
伸縮装置の種類	無	無	無
支 承 の 種 類	無	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定あり	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	130	131	132
フ リ ガ ナ	ササガワバン	ハナミチドリコセンキョウ	チドリバン
橋 梁 名	笹川橋	花見千鳥路線橋	千鳥橋
橋 梁 番 号	3121	3122	3123
路 線 種 別	その他	1級市道	その他
路 線 名 称	町川原17号線	花見・佐合線	千鳥27号線
路 線 番 号	2117	1	327
所 在 地	福岡県古賀市青柳町	福岡県古賀市花見東6丁目	福岡県古賀市久保
橋 長	3.65m	187.00m	10.05m
幅 員	4.25m	12.80m	10.30m
架設年(西暦)	1970年	1987年	1988年
径 間 数	1	9	1
材 料 区 分	RC	PC	PC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	不明、プレテン桁橋	単純、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	逆T式橋台、張出し式橋脚(角)	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.93m	材料:不明 形状:不明 高さ:1.20m	材料:鋼 形状:橋設用防護柵 高さ:1.00m
添 架 物	無	不明	有
伸縮装置の種類	不明	鋼製	ゴムジョイント
支 承 の 種 類	エラスタイト	ゴム	ゴム
交 差 条 件	水路	鉄道	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	塩害地区	通常
第三者被害	無	有	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	無	有	有
通 学 路	指定なし	指定あり	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	大	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	不明
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	II	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	133	134	135
フ リ ガ ナ	イツツガワハチゴウキョウ	イツツガワキョウゴウキョウ	イツツガワジュウイチゴウキョウ
橋 梁 名	井筒川8号橋	井筒川9号橋	井筒川11号橋
橋 梁 番 号	3124	3125	3126
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	小竹43号線	小竹44号線	小竹52号線
路 線 番 号	2343	2344	2352
所 在 地	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋 長	3.85m	3.91m	3.90m
幅 員	4.90m	5.58m	6.60m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1970年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	RC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	重力式橋台	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.96m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.97m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m
添 架 物	有	有	無
伸縮装置の種類	エラスタイト	エラスタイト	無
支 承 の 種 類	エラスタイト	エラスタイト	ゴム
交 差 条 件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定あり	指定あり	指定あり
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	136	137	138
フ リ ガ ナ	ムラナカ3ゴウキヨウ	ハナミナミイチゴウキヨウ	カンダバシ
橋 梁 名	村中3号橋	花見第1号橋	神田橋
橋 梁 番 号	3127	3128	3129
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	栗王寺9号線	花見132号線	青柳59号線
路 線 番 号	1609	232	2259
所 在 地	福岡県古賀市栗王寺	福岡県古賀市千鳥2丁目	福岡県古賀市青柳
橋 長	5.75m	6.84m	10.43m
幅 員	5.00m	3.02m	8.79m
架設年(西暦)	1993年	1992年	1971年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	RC	PC	PC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋
下 部 工 形 式	重力式橋台	その他(橋台)	半重力式橋台
基 礎 形 式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.05m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.06m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m
添 架 物	無	有	不明
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支 承 の 種 類	不明	ゴム	ゴム
交 差 条 件	河川	水路	河川
設計活荷重	通常	不明	不明
架設された環境条件	通常	塩害地区	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理 番 号	139	140	141
フ リ ガ ナ	シノバヤシバシ	ヤシキバシ	ナカガワ・トウデセンレンラクキヨウ
橋 梁 名	篠林橋	屋敷橋	中川・東田線連絡橋
橋 梁 番 号	3130	3131	3132
路 線 種 別	その他	その他	その他
路 線 名 称	篠林1号線	栗王寺9号線	古賀37号線
路 線 番 号	1131	1609	837
所 在 地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市栗王寺	福岡県古賀市駅支線3丁目
橋 長	21.80m	7.70m	14.80m
幅 員	12.80m	3.50m	10.80m
架設年(西暦)	2013年	1993年	1980年
径 間 数	1	1	1
材 料 区 分	PC	PC	RC
上 部 工 形 式	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋	単純、BOXカルバート
下 部 工 形 式	逆門式橋台	重力式橋台	BOXカルバート
基 礎 形 式	直後基礎	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードフェンス 高さ:1.04m	材料:鋼 形状:その他 高さ:1.15m
添 架 物	有	無	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	不明	無
支 承 の 種 類	ゴム	不明	無
交 差 条 件	河川	河川	道路
設計活荷重			不明
架設された環境条件	通常	通常	塩害地区
第三者被害	無	無	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂 回 路	有	有	有
通 学 路	指定なし	指定なし	指定なし
バ ス 路 線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	不明
橋面防水層設置年	有	無	不明
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装 歴	無	無	無
補 修 歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	142	143	144
フリガナ	テドリナナゴウセンコンドウキョウ	チュウガンキョウゴンゴウバン	クリハラニゴウキョウ
橋梁名	千鳥7号線跨道橋	中間給4号橋	栗原2号橋
橋梁番号	3133	3134	3135
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	千鳥7号線	青柳14号線	米多比34号線
路線番号	307	2214	1534
所在地	福岡県古賀市駅東5丁目	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市米多比
橋長	14.80m	7.55m	5.90m
幅員	7.50m	27.00m	2.65m
架設年(西暦)	1980年	1990年	1950年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、BOXカルバート	単純、BOXカルバート	単純、ラーメン橋
下部工形式	BOXカルバート	BOXカルバート	その他(橋台)
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.15m	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.06m	無
添架物	不明	無	不明
伸縮装置の種類	無	無	不明
支承の種類	無	無	不明
交差条件	道路	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	通常	通常
第三者被害	有	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定あり	指定なし
自動車交通量	小	中	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	無
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○計畫對象橋梁一覽表(道路付屬物等)

▲ 1級市道:0橋 2級市道:1橋 その他:2橋

[illegible]

○橋の基本諸元及び健全性(道路附属物等)

整理番号	1	2	3
フリガナ	ハナミコセンジンドウキョウ	シシブジュウツウロキョウ	コガエキジョウツウロキョウ
橋梁名	花鹿野緑人道橋	ししが自由通路橋	古賀駅自由通路橋
橋梁番号	2561	2568	2569
路線種別	その他	その他	2級市道
路線名称	花見91号線	鹿部28号線	古賀駅・前田線
路線番号	191	1028	60
所在地	福岡県古賀市千鳥5丁目	福岡県古賀市日草3丁目	福岡県古賀市
橋長	26.57m	37.65m	47.70m
幅員	2.60m	3.10m	5.35m
架設年(西暦)	1979年	2008年	1988年
径間数	5	5	14
材料区分	鋼	鋼	鋼
上部工形式	不明、桁橋	単純、箱桁橋	不明、その他(鋼)
下部工形式	不明、その他(橋脚)	不明、その他(橋脚)	不明、その他(橋脚)
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.88m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ: 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:その他 高さ:1.10m
添架物	不明	不明	不明
伸縮装置の種類	不明	不明	不明
支承の種類	その他	不明	不明
交差条件	鉄道	鉄道	鉄道
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	塩害地区
第三者被害	有	有	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	大	大
通行制限(荷重、高さ、幅)	不明	不明	不明
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	有	不明	不明
補修歴	2022年	無	無
橋の健全性の診断	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）								措置内容		
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
1	前田橋	1955	67	39.98	5.20	2019	I		○					○				点検
2	落合橋	1975	47	30.29	5.00	2019	I		○					○				点検
3	庄橋	1980	42	39.28	16.80	2019	I		○					○				点検
4	五束橋	1962	60	33.35	4.10	2021	II				○			△		○	●	修繕
5	新五束橋	1982	40	33.28	5.30	2019	I		○					○				点検
6	石原橋	1959	63	31.50	4.20	2019	I		○					○				点検
7	堀田橋	1959	63	30.20	5.60	2019	I		○					○				点検
8	久保橋	1959	63	27.49	6.45	2019	I		○					○				点検
9	蔵園橋	1969	53	24.70	6.20	2019	I		○					○				点検
10	大人橋	1974	48	19.12	7.00	2019	I		○					○				点検
11	麦田橋	1977	45	16.68	7.20	2019	I		○					○				点検
12	高柳橋	1960	62	38.10	3.00	2019	I		○					○				点検
13	迎田橋	1959	63	24.08	3.40	2021	II				○			△		○	●	修繕
14	馬渡橋	1998	24	27.80	17.80	2019	I		○					○				点検
15	樋門田橋	1956	66	16.13	3.50	2021	I				○					○		点検
16	久保跨道橋	1969	53	34.50	8.80	2021	II				○			△		○		修繕
17	深原跨道橋	1976	46	39.40	4.80	2022	II						○	△		●		修繕
18	小浦跨道橋	1973	49	52.40	6.10	2022	II						○	△		●		修繕
19	栗原橋	1980	42	10.95	8.80	2020	I			○						○		点検
20	新田中橋	1979	43	15.70	8.70	2019	I		○						○			点検
21	鰯田橋	1978	44	27.09	8.70	2019	I		○					○				点検
22	花津留川橋梁	2015	7	77.40	5.12	2019	I		○						○			点検
23	鹿部跨線橋	2021	1	262.75	8.00	2022	I					○					○	点検
24	中間給3号橋	1990	32	5.10	24.25	2021	I					○					○	点検
25	中川・東田線JR橋	1996	26	14.80	15.00	2020	II			○				△		○	●	修繕
26	千島津1号橋	1946	76	2.45	3.74	2022	I					○						点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長 (m)	幅員 (m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）								措置内容			
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年	
27	千島溝2号橋	1950	72	2.49	3.60	2019	I		○						○				点検
28	千島溝3号橋	1970	52	2.20	4.80	2022	I					○						○	点検
29	西大橋	1985	37	12.00	9.85	2021	I						○					○	点検
30	中川2号橋	1985	37	11.50	2.70	2020	II			○						○ △		●	修繕
31	中川3号橋	1984	38	12.20	6.20	2021	I					○						○	点検
32	中川5号橋	1970	52	4.50	8.40	2020	I			○						○			点検
33	中川6号橋	1970	52	3.70	6.30	2020	II			○						○ △		●	修繕
34	中川7号橋	1970	52	4.75	9.00	2019	I		○							○			点検
35	中川8号橋	1970	52	8.25	8.27	2020	I			○						○			点検
36	中川9号橋	1970	52	4.57	4.45	2021	III	●				○						○	修繕
37	浦田川1号橋	1990	32	2.90	4.10	2022	I							○				○	点検
38	浦田川2号橋	1950	72	3.00	3.05	2019	II		○						○ △			●	修繕
39	花宮橋	1970	52	7.00	16.00	2019	I		○						○				点検
40	牟田橋	1960	62	5.90	3.70	2019	I		○						○				点検
41	鎌田1号橋	1960	62	3.30	4.50	2020	I			○						○			点検
42	鎌田2号橋	1970	52	3.75	9.85	2021	I					○						○	点検
43	鎌田3号橋	1950	72	2.82	3.99	2020	I			○						○			点検
44	落合2号橋	1980	42	2.80	4.75	2022	I						○					○	点検
45	牟田2号橋	1960	62	4.20	6.85	2020	I			○						○			点検
46	横枕橋	1960	62	3.48	6.20	2019	II		○							○ △		●	修繕
47	沼尻1号橋	1960	62	4.71	6.70	2019	I		○						○				点検
48	沼尻2号橋	1960	62	4.80	8.10	2019	I		○						○				点検
49	沼尻3号橋	1960	62	2.35	3.35	2022	I							○				○	点検
50	四反田橋	1960	62	2.20	3.65	2022	I							○				○	点検
51	竹ノ下橋	1960	62	2.05	6.05	2021	II						○					○	修繕
52	下戸藤橋	1960	62	2.70	3.60	2020	I			○						○			点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）								措置内容		
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
53	百田橋	1981	41	2.25	5.30	2022	I				○						○	点検
54	中間給1号橋	1950	72	4.50	4.75	2020	I			○						○		点検
55	中間給2号橋	1950	72	5.30	4.35	2019	I		○						○			点検
56	村中5号橋	1980	42	4.05	6.00	2021	I				○					○		点検
57	村中6号橋	1960	62	2.71	8.68	2021	I				○					○		点検
58	村中7号橋	1960	62	2.90	3.83	2022	I					○					○	点検
59	ハンダ1号橋	1970	52	2.65	8.00	2021	I				○					○		点検
60	前田3号橋	1970	52	2.60	5.00	2022	I						○				○	点検
61	井筒川1号橋	1960	62	7.10	4.10	2020	I			○						○		点検
62	井筒川2号橋	1960	62	6.20	4.70	2019	II		○						○	△	●	修繕
63	井筒川3号橋	1970	52	5.80	3.60	2020	I				○					○		点検
64	天神橋	1960	62	13.63	3.00	2021	II					○				△	○	修繕
65	髭園橋	1970	52	13.16	6.80	2019	I		○						○			点検
66	下瀬戸橋	1950	72	10.54	3.95	2019	I		○						○			点検
67	上瀬戸橋	1950	72	11.10	4.70	2019	I		○						○			点検
68	深町橋	1960	62	9.05	5.20	2020	I			○						○		点検
69	前田2号橋	1960	62	11.00	4.00	2019	I		○						○			点検
70	薬王寺橋	1980	42	9.20	7.72	2021	I				○					○		点検
71	村中1号橋	1988	34	6.70	4.60	2022	I					○					○	点検
72	村中2号橋	1992	30	6.70	5.00	2022	I						○				○	点検
73	村中4号橋	1990	32	6.70	4.60	2022	I					○					○	点検
74	根神橋	1960	62	8.12	4.59	2019	I		○						○			点検
75	御寺橋	1970	52	6.50	4.80	2020	I			○						○		点検
76	御宮橋	1960	62	7.10	4.30	2020	I									○		点検
77	河内橋	1950	72	6.50	10.10	2020	I									○		点検
78	鬼王橋	1950	72	5.20	3.90	2020	I									○		点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理 番号	橋 梁 名	架 設 年 次	供 用 年 数	橋 長 (m)	幅 員 (m)	最新の点検結果		対 策 の 内 容 ・ 時 期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）								措置内容		
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
79	井堀橋	1950	72	3.40	3.60	2020	I			○					○			点検
80	相原橋	1980	42	13.00	5.20	2022	I					○					○ △	点検
81	谷山橋	1980	42	12.54	7.70	2019	II		○						○ △		●	修繕
82	松葉橋	1960	62	12.32	3.96	2021	II				○				△	○	●	修繕
83	薬師様橋	1950	72	8.70	3.90	2020	I			○					○			点検
84	谷山上ノ橋	2000	22	10.39	6.20	2021	I				○					○		点検
85	下地裏橋	1960	62	8.30	4.50	2020	I			○					○			点検
86	愛后橋	1950	72	7.80	4.80	2020	I			○					○			点検
87	樋田橋	1970	52	5.40	5.60	2019	I		○						○			点検
88	外輪崎橋	2000	22	11.22	9.05	2021	I				○					○		点検
89	マナゴ橋	2005	17	6.40	11.20	2021	I				○					○		点検
90	谷橋	1950	72	5.60	8.30	2020	II			○					△	○	●	修繕
91	本谷1号橋	1950	72	3.34	3.50	2022	I					○					○	点検
92	本谷2号橋	1960	62	4.05	4.30	2020	I			○					○			点検
93	近道橋	1990	32	6.70	8.03	2021	II				○				△	○	●	修繕
94	鳥越橋	1960	62	5.71	2.80	2019	I		○					○				点検
95	小浦橋	1960	62	6.92	5.67	2019	I		○					○				点検
96	下西ノ前橋	1960	62	5.90	4.50	2019	II		○					○	△		●	修繕
97	上西ノ前橋	1960	62	6.30	4.40	2019	II		○					○	△		●	修繕
98	水呑橋	1960	62	6.35	3.90	2020	I			○					○			点検
99	山ノ口橋	1960	62	5.00	4.50	2019	I		○					○				点検
100	長葉山橋	1960	62	4.40	5.00	2019	I		○					○				点検
101	宇治川1号橋	1980	42	6.20	5.90	2020	I			○					○			点検
102	宇治川2号橋	1986	36	13.50	14.10	2020	I			○					○			点検
103	宇治川3号橋	1960	62	5.60	3.10	2020	I			○					○			点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）								措置内容		
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
104	宇治川4号橋	1960	62	3.31	3.30	2022	I				○						○	点検
105	宇治川5号橋	1960	62	3.50	2.70	2022	I				○						○	点検
106	宇治川6号橋	1960	62	2.20	4.20	2020	I			○						○		点検
107	貝地橋	1960	62	3.70	3.60	2020	I			○						○		点検
108	古野橋	1970	52	3.27	4.76	2022	I					○					○	点検
109	中村橋	1950	72	13.73	4.00	2019	I		○						○			点検
110	吉住橋	1960	62	13.85	4.40	2021	I					○					○	点検
111	石原2号橋	1936	86	10.40	3.70	2020	III		●	○						○		修繕
112	田中橋	1960	62	13.16	4.30	2019	III	●	○						○			修繕
113	清瀧橋	1932	90	9.50	4.50	2020	I			○						○		点検
114	赤根橋	1950	72	9.80	3.00	2020	I			○						○		点検
115	車屋橋	1960	62	9.60	5.10	2020	II			○						○	△	修繕
116	山ノ口2号橋	1950	72	4.20	4.52	2019	I		○						○			点検
117	上藤野橋	1966	56	10.60	4.70	2020	III		●	○						○		点検
118	小谷橋	1970	52	4.96	4.12	2019	I		○						○			点検
119	井筒川10号橋	1970	52	4.58	7.30	2021	I					○					○	点検
120	井筒川4号橋	1970	52	4.00	5.20	2021	I					○					○	点検
121	井筒川5号橋	1970	52	4.72	5.10	2021	I					○					○	点検
122	ハシダ2号橋	1970	52	2.65	4.45	2022	I					○						点検
123	林田1号橋	1980	42	2.50	9.32	2020	I			○						○		点検
124	林田2号橋	1980	42	2.20	19.00	2019	I		○						○			点検
125	立花田橋	1979	43	8.10	8.70	2019	I		○									点検
126	中川10号橋	1980	42	4.56	4.60	2021	I					○					○	点検
127	日野橋	1980	42	2.30	7.70	2021	I						○				○	点検
128	井筒川6号橋	1970	52	3.84	6.20	2020	I				○					○		点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）								措置内容		
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
129	井筒川7号橋	1970	52	3.90	5.10	2020	I			○					○			点検
130	笹川橋	1970	52	3.65	4.25	2022	I					○					○	点検
131	花見千鳥跨線橋	1987	35	187.00	12.80	2022	II					△ ○		●			○	修繕
132	千鳥橋	1988	34	10.05	10.30	2021	I				○					○		点検
133	井筒川8号橋	1970	52	3.85	4.90	2022	I					○					○	点検
134	井筒川9号橋	1970	52	3.91	5.58	2022	I					○					○	点検
135	井筒川11号橋	1970	52	3.90	6.60	2020	I			○					○			点検
136	村中3号橋	1993	29	5.75	5.00	2021	I				○					○		点検
137	花見南1号橋	1992	30	6.84	3.02	2020	I				○					○		点検
138	神田橋	1971	51	10.43	8.79	2019	I		○						○			点検
139	篠林橋	2013	9	21.80	12.80	2019	I		○						○			点検
140	屋敷橋	1993	29	7.70	3.50	2022	I							○			○	点検
141	中川・東田線連絡橋	1980	42	14.80	10.80	2020	I			○						○		点検
142	千鳥7号線跨道橋	1980	42	14.80	7.50	2020	I			○						○		点検
143	中間給4号橋	1990	32	7.55	27.00	2021	I				○						○	点検
144	栗原2号橋	1950	72	5.90	2.65	2019	I		○						○			点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(道路附属物等)

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長 (m)	幅員 (m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）										措置内容	
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年		
1	花見跨線人道橋	1979	43	26.57	2.60	2018	II	○						○					点検
2	古賀駅自由通路橋	1988	34	47.70	5.35	2021	II	○					△	○	●				修繕
3	ししぶ自由通路橋	2008	14	37.65	3.10	2021	I	○							○				点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

(参考：認定外道路)

○橋の基本諸元及び健全性(認定外道路)

整理番号	145	146	
フリガナ	オダケコドウキョウ	シオサイバシ	
橋梁名	小竹跨道橋	潮騒橋	
橋梁番号	-	-	
路線種別	-	-	
路線名称	-	-	
路線番号	-	-	
所在地	福岡県糟屋郡新宮町立花口	福岡県古賀市古賀	
橋長	39.57m	38.00m	
幅員	4.80m	3.80m	
架設年(西暦)	1973年	2002年	
径間数	3	1	
材料区分	PC	PC	
上部工形式	不明、ボステン床版橋	単純、ボステン床版橋	
下部工形式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台	
基礎形式	直接基礎	不明	
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:その他 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.00m	
添架物	不明	不明	
伸縮装置の種類	不明	不明	
支承の種類	その他	ゴム	
交差条件	道路		
設計活荷重	TL-20	不明	
架設された環境条件	通常	塩害地区	
第三者被害	有	無	
緊急輸送道路			
迂回路	無	有	
通学路	指定なし	指定なし	
バス路線	指定なし	指定なし	
自動車交通量	小	小	
通行制限(荷重、高さ、幅)	不明	不明	
橋面防水層設置年	無	有	
耐震補強歴	不明	不明	
塗装歴	無	無	
補修歴	無	無	
橋の健全性の診断	Ⅲ	Ⅱ	

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○計畫対象橋梁一覽表(認定外道路)

2橋

[illegible]

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表（認定外道路）

整理 番号	橋梁名	架設 年次	供用 年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果		対策の内容・時期（○：定期点検 △：調査・設計 ●：補修 ◎：架替え ×：撤去・移管等）									
						点検年度	判定区分	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
145	小竹跨道橋	1973	49	39.87	4.80	2022	Ⅲ		●			○					○
146	柳騒橋	2002	20	38.00	3.80	2022	Ⅱ					○	△	●			○

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。